

No. 25 号 ひらつかの風

2022年3月号
(令和4年)

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

CONTENTS

- P.1平塚市情報 市民提案型協働事業の募集開始
P.2~3特別寄稿 「幸せな居場所を考える」
P.3お役立ち情報
P.4センター情報・平塚市情報

特別寄稿

『幸せな居場所を考える』

この2年間、コロナ禍によって人々の出会いや交流の機会が格段に減りました。これまで様々な人と人とのつながりの中で生活してきた私たちですが、行き場を失うことの怖さ・辛さを否応なしに実感しました。

今回ひらつかの風25号では、そのような中で「居心地の良い場所」や「生きがいを感じる場所」を生み出すという市民活動の側面に着目してみました。



平塚市情報

市民提案型協働事業の募集開始

令和5年度に実施する市民提案型協働事業の提案の募集を開始します。
行政と協力・連携して実施したい事業がございましたら、検討段階で構いませんので、お問い合わせください。

募集期間 ● 令和4年4月15日(金) ~ 5月16日(月)

お問い合わせ先 ● 平塚市協働推進課 電話 21-9618

詳細はこちら http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00040.html



特別寄稿

『幸せな居場所を考える』

— あなたにとって幸せな居場所ってどんなところ(場)ですか? —

人は行き先や用事があることで、生活にリズムが生まれ潤いのあるものになります。しかし、コロナ禍のため不要不急の外出はもちろん、職場や学校へ通うことも制限されました。自宅が落ち着く場所ならいいですが、そんな家ばかりではないでしょうし、一人暮らしの世帯では孤独に悩む人もいと聞きます。そう考えると市民活動は、誰かにとって居心地の良い場所を提供していると共に、実は活動している方々にとっても大事な居場所と言えるのではないのでしょうか。

SDGsの達成目標17項目の3つ目に、「すべての人に健康と福祉を」があります。「幸福」「健康」という意味を持つ「well-being(ウェルビーイング)」という言葉聞いたことがあると思いますが、市民活動はまさに人々が幸福になるための活動ではないかと思います。

ひらつかの風 25 号では、日頃、お世話になっている平塚市市民活動推進委員、平塚市市民活動推進補助金審査会委員の皆さんに「自分にとって幸せな居場所」をテーマにご寄稿いただきました。

令和 3 年度平塚市市民活動推進委員

石原 守さん

(平塚市国際交流協会日本語教室)

私は、老若男女を問わず、人間という生き物の大のファン。企業在職中も仲間との打ち合わせや会議は大好きな場所で、皆を信じて共に働いて来ました。そんな私ですから、リタイア後に人的交流が激減すると楽しい場所も無くなり、かなり落ち込みました。しかしその後、市民活動、ボランティア活動に出会い、交流・触れ合いを再開。取り組んだのは、日本居住の外国の方々に日本語を教えるボランティアです。言語・文化が全く異なる初対面の人に、日本語更には日本を、教室学習で理解してもらおうというもの。想像以上に、新鮮で、使命感の湧く、責任の伴う仕事です。

結果として、学習者のレベルの向上が明らかになった時、指導した事が学習者の実生活で役立った時には素直に嬉しくなります。毎度学習者以上に感動しています。特に「学習者の笑顔が心の奥底から湧き出ている」と感じた瞬間には、幸せ度は 100% です。

即ち、この教室こそが、現在の私に最高の時間をもたらしてくれる場所であり、これこそが私の「幸せな居場所」なのだと思います。

令和 3 年度平塚市市民活動推進補助金審査会委員

櫻井 光さん

(認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構 支援業務マネージャー)

「おかえり」「ただいま」

と言ひ合える場所が皆さんはいくつあるでしょうか。生まれた頃から同じ地域で育った私は、小学生の頃に「ただいま!」と大きな声で家に帰るのがとても楽しみでした。中高生になると流石に照れくさかったりしましたが、部活や生徒会室など自分がその言葉を言いたくなる空間を必ず持っていた気がします。

社会人になってからは、自分の地元を知らない方々と仕事をすることもあり、初めて地元に対しての愛着や強い思いを感じました。その後、地元に戻り「まちを元気にするために市民活動を応援する」仕事に就き、現在に至っています。

普段の業務は団体の支援が主であり居場所づくりとは違うものの、私個人のミッションとして「地元に残り、いつでも迎える存在」を掲げています。

様々な想いをもち活動している方々がどんどんと羽ばたいていくのを送り出し、ふと立ち止まったときにいつでも帰ってこられる場所でありたいと思っています。

冒頭の言葉を交わし合える関係性や場を大事にしていくことで自分らしさを感じられる方々も増えるのではないかと、そんな期待を抱きつつ、日々の業務をこなしている今日この頃です。

令和 3 年度平塚市市民活動推進補助金審査会委員

寺山 泰郎さん

(平塚の在宅ケアを考える会)

「わたしにとって幸せな居場所って、どんなところか?」を、ふり返ってみると、仕事であっても地域の活動であっても、苦楽をともにした仲間とのその時とその場が、わたしの居場所でした。公募委員として、ひらつか未来市民会議のメンバーとして地域デビューした時の居場所。在宅ケアに関わる多職種の若いみなさんと「平塚の在宅ケアを考える会」の居場所。介護の悩みを語りあいながら、自分ごととして介護を考える「平塚市介護の会はまゆう」の居場所。まつりを通して地元の繋がりを大切に三島神社や港稲荷の居場所。病院でスタッフとともに生と死を考えるために、関わり続けたピースハウス病院での居場所など、自分らしさを育んでくれたかけがえのない場に恵まれたことに感謝しています。

コロナをはじめ、ウイルスとうまく付き合いながら暮らさなければならぬこれからは、オンラインでの居場所も活用しなければなりません。こんな時代だからこそ、ドキュメンタリー番組や読んだ本を題材に自ら体験したことと重ねあわせながら、ものごとのなぜかを語りあえる、対話する居場所をつくりたい。



令和3年度平塚市市民活動推進委員

山田 美智子さん

(ひらつか防災まちづくりの会)

2020年のはじめから、「新型コロナウイルス」の感染拡大状況がずっと続いていて、今まで社会が抱えていた地域でのコミュニケーション不足などの課題がますます浮き彫りになってきています。

私は防災について志を同じくする信頼できる仲間と市民活動に力を入れています。いざという時に助け合い支え合える工夫が今まで以上に必要だと思っています。地域の皆さんに防災力向上を伝えようと「防災講演会」開催や「まち歩き」実施など今までどおりに忙しく活動しているのが元気の源だと感じています。その他に南口の噴水広場のバラ育成のボランティアを行っていて、草むしりなど地道な作業が多いのですが、土に接していると思った以上に心が癒されます。

そんな日常の中「幸せな居場所を考える」の今回のテーマに思いを巡らせてみると、アクティブに活動している時の「交感神経」優位な時と、家で寝ころびながら好きな韓流ドラマを見てわくわくしたり大笑いをしている「副交感神経」状態の時の、両方のバランスがとても大切なのだと感じています。

難しい仕事や活動を抱えて挑戦している大変な時に感じるストレスがなければ、達成した喜びもありません。近所の親友との散歩や美味しい食事の家族や仲間との会話が「幸せな居場所」です。

人生100年時代、世の中や身の回りの変化に対応し健康に留意しながらライフシフトしていくレジリエンス力を培いたいと思っています。



令和3年度平塚市市民活動推進委員

中野 有子さん

(ちがさき市民活動サポートセンター センター長)

就職して3年を過ぎたころ、会社を辞めて、ひとり海外に飛び出しました。平穏で不自由のない生活、やりがいのある仕事、何でも話せる気の置けない友人…。今にして思えば、家にも会社にも、それなりに幸せな私の居場所はあったのに、なぜかそこから離れたかったのです。「もっと面白い人やモノ、コトに出会いたい」、「誰かから与えられたものではない自分らしい幸せのカタチを見つけたい」と。何が幸せなのかは人によって異なるし、居場所に必要な要素は、人生のその時々、自分の中にある属性、気分などによっても変わる気がします。

その後も私は、自分の「好き」や直感を信じて行きたい方に。幸いにも私の行く先々で、そこに居る人たちは、ありのままの私を受け入れ、さりげなく寄り添い、必要なときに手を差し伸べてくれました。安心感とともに、居場所の日常にあるちょっとした出来事や様々な人との偶然の出会い、そこで得られるたくさんの気づきやワクワクが、人生を楽しく、より豊かなものにしてくれます。

今、私が多くの時間を過ごす“ちがさきサポセン”。

訪れる人や働く人の声に耳を傾け、思いを受け止める。ここが誰かの幸せな居場所になれるよう、自分のできる精一杯が誰かの幸せにつながるという願いながら。

お役立ち情報

助成金の申請書を書く際のポイント

令和3年12月18日(土)午後、平塚市市民活動推進補助金審査員を長年務めていただいた東樹康雅氏((一財)東京都くらしつなぐ創生財団)を講師に招き、助成金の申請書を書く際のポイントを学ぶ講座を開催しました。東樹さんから教えていただいた4つのポイントをご紹介します。



- POINT 1 助成金の狙いは何かを十分に理解する
- POINT 2 申請する事業の根拠を示すために統計やデータを活用する
- POINT 3 誰(何)を対象とした事業を行うのかを明確にする
- POINT 4 6W3Hに沿って書くとわかりやすい申請書になる



春の助成金シーズンを前に申請を検討している団体さんは、上記4つのポイントに気をつけて申請書を書いてみてはいかがでしょうか。

尚、助成金情報は、ひらつか市民活動センターのホームページ、又はセンター内に配架しているチラシをご覧ください。また、申請に関するご相談も受け付けております。メール・電話等、お気軽にご相談ください。

センター情報

● 団体活動にお役立てください！

ひらつか市民活動センターの2022 年度の事業概要をご案内いたします。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
イベント	平塚市制 90 周年記念事業 第 16 回ひらつか市民活動センターまつり (11月予定)											
講座	市民活動応援講座・NPO マネジメント講座・ICT 活用講座・NPO 法人会計相談会、他											
交流	団体交流会、企業・大学・NPO とのパートナーシップ交流会、若者のボランティア活動交流、他											
NPO・市民活動相談	■ 専門相談 (随時：まずはご一報ください) ■ 窓口相談 (センター開館日 9:00~21:30)											

※詳しい日程・内容は決まり次第、ホームページ・情報紙・メールマガジン等でお知らせします。

● 新規登録団体のご紹介 ●

2021 年(令和 3 年)7 月～ 2022 年(令和 4 年)2 月にかけて登録された市民活動団体をご紹介します。

- ★『湘南よさこい祭り実行委員会』(令和 3 年 5 月登録)
.....「湘南よさこい」をオフィシャル曲として、交流の輪を形成し地域の発展と振興に寄与する。
- ★『なでしこ囲碁倶楽部』(令和 3 年 6 月登録)女性だけの楽しい教室です。
- ★『ひばり野のなかま達』(令和 3 年 6 月登録)できることを生かしながら、みんな生き生き輝いて活動しています。
- ★『豊かな海と暮らす平塚市民の会』(令和 3 年 9 月登録)
.....海岸林を大切に思っている住民の集まりです。様々な職業の人がいます。
- ★『特定非営利活動法人 神奈川県障害者自立生活支援センター』(令和 3 年 10 月登録)
.....私たちは、障害のある人の自立生活の支援と権利を擁護する活動を行っています。
- ★『ウォッチドッグス』(令和 3 年 12 月登録)私たちの組織名であるウォッチドッグスは、番犬という意味があります。
微力ながらも防犯活動を通して地域の安心安全を守っていきます。
- ★『湘南 SDGs 研究会』(令和 3 年 12 月登録)SDGs をひとりひとりが意識して生ければ自分が変わる。世界が変わる。
- ★『ことばうむ朗読サロン』(令和 4 年 1 月登録)あなたも朗読してみませんか？
- ★『平塚西ロータリークラブ』(令和 4 年 2 月登録)奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために！

※ひらつか市民活動センターの HP に詳しい情報が載っています。

平塚市 市民活動団体

検索！

平塚市情報

第3回 平塚市みんなのまちづくり事例集を発行しました

令和 3 年 9 月 3 日(金)～10 月 8 日(金)に応募いただいた事例をまとめた「事例集」を発行しましたので、是非、御覧ください。(カラー版をホームページに掲載しています。)

なお、令和 4 年 2 月 3 日(木)の表彰式にて、年間大賞を受賞した団体を表彰いたしました。応募に御協力いただき誠にありがとうございました。

平塚市協働推進課 ◆ 電話 21-9618

http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00040.html



編集後記

コロナ禍の渦中にあり未だに収束が不透明な中、様々な工夫を施した上での活動が徐々に戻りつつあると感じています。

「ひらしん文化芸術ホール」のオープンを 3 月 26 日に控え、文化芸術に関する市民活動団体もオープンに向けて着々と準備を進めています。センターも協力しながら盛り上げていきたいと思ひます。(は)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00～22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045

神奈川県平塚市見附町 1-8

TEL ● 0463-31-7571

FAX ● 0463-35-6601

Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net

URL ● <http://hiratsuka-shimin.net>

センター登録団体数 (2022 年 2 月 15 日現在)

登録団体数 ● 455 団体

(内訳 市民活動団体…332 団体、一般団体…125 団体)



